

令和8年3月31日
さぎそう学舎
世田谷区立九品仏小学校
校長 笛木 毅

前年度の改善方策について実行した改善結果

1 思考力・表現力のある子どもの育成実技教科の充実について

変化の激しい時代を生きる子どもたちには、自ら問いを見つけ、深く考え、自分の考えを他者に伝え合いながら、よりよい解決を見出していく力が求められます。各教科における言語活動の充実、ICT 機器を活用した対話的な学びの工夫等の推進を通して、子どもたちの「考える力」と「伝える力」を育ててまいりました。

2 すすんであいさつする子どもの育成

人とのつながりの第一歩は「あいさつ」です。あいさつを「心と心をつなぐ行動」と捉え、今年度も全校で取り組んでまいりました。気持ちのよいあいさつをすることで、子どもたちが人と関わることの楽しさや安心感を味わえるよう、学年や学級の枠を越えた交流やソーシャル・スキル教育も推進します。また、保護者・地域の皆様とも連携しながら、学校全体であたたかい雰囲気育ててまいりました。

3 実技教科の充実と課題解決力の育成

音楽、図工、家庭科、体育などの実技教科は、子どもたちの創造力や協働力、そして「できた」「わかった」といった達成感を味わうために欠かせない学びの場です。本校では、こうした体験的な学習を通して、子どもたちが自分の課題に気づき、友達と相談しながら試行錯誤し、よりよい方法を探っていく力を育ててきました。また、体育朝会や休み時間の運動、生活とつながる家庭科にも力を入れ、心と体の健やかな成長を支援してまいりました。